

記者発表資料

中央防災会議

「防災情報の共有化に関する専門調査会」(第10回)議事概要について

中央防災会議事務局(内閣府(防災担当))

1. 専門調査会の概要

日時 : 平成15年6月26日(木)10:00~12:00

場所 : グランドアーク半蔵門 富士東の間

出席者 : 片山座長、秋本、生田、大森、岡田、川合、小嶋、沢田、重川、平野、
廣井、藤井、森下の各委員(五十音順、敬称略)
内閣府山本政策統括官、山口官房審議官、消防庁 他

2. 議事概要

専門調査会のこれまでの経緯と今後の予定について、事務局より説明を行った。

専門調査会報告書の構成イメージ(案)が説明された。

行政と住民等の情報共有、科学的防災情報の提供について、前回会合に引き続き対応策等について審議が行われ、各委員から以下のような意見等が出された。

阪神・淡路大震災の最大の教訓は、政府の体制の立ち上げが遅れたこと。行政と住民等との間の防災情報共有に関連する施策は多いが、これらは全て政府が豊富に情報を持っていることが前提となっている。本当の問題は、それ以前の、政府体制の早期立ち上げという点にあり、その本質がメニューの中に埋もれないように表現すべき。

阪神・淡路大震災の時には、現地で様々な情報が乱れ飛んだことに一番困らされた。誰が責任を持って情報を提供するのか定めることが重要である。

行うべきことを重点化し、報告書を読んだ地方公共団体の担当者に、自分が何をすればよいのかが見えるようなものとするべき。重要なポイントは、情報に携わる人材の質の向上、新たな技術開発、制度づくり、NPOや企業等との連携、情報提供先の住民等のニーズの構造の解明である。

報告書の作成に向けては、記述をポジティブにすることを心がけ、現場の担当者の反発を招かぬように留意すべき。

情報提供の責任の明確化については、科学的防災情報だけではなく、全ての分野で考慮すべき。責任を明確化することで、かえって情報を出しづらくなるようなことはないだろうか。

さきの三陸南沖を震源とする地震では、戸外にいる人間は情報の収集が非常に困難になることがわかった。外出中の人、旅行中の人に対する情報提供の方法が見えるようにすべき。

学識経験者の意見を行政にとりいれる枠組みがあると、学識経験者は自分の発言のフォローを行政にしてもらえるようになり、安心して意見がいえようになる。災害の時など、学識経験者の意見が直接行政に反映されるサイエンスアドバイザーシステムのようなものがあるとよい。

専門調査会を開始した当初に持っていた問題意識をしっかりと示し、それを解決するための具体的施策を示すことが必要。阪神・淡路大震災の際の、病院や行政の情報が十分提供できなかった反省、平常時の通信システムが災害時にはほとんどダウンしてしまうこと、高齢化社会には確実に増える情報弱者への支援策はほとんど手が着いていないこと、地方において防災情報システムや自治体間の連携を計画に位置づけることなどが重要

一つ一つは正しくても、集まったときに全体として誤った方向に向いてしまう「合成の誤謬」という言葉があるが、個々の施策は妥当であっても全体として方向性が示されないと意図が伝わらない。

ラジオの音声による情報提供は、放送側にも受け手にも負担となる。画像による情報提供は明らかに音声よりも上であり、このように順位がはっきりついている施策を優先した整理をして欲しい。

外出、旅行など戸外にいる人が自然災害にあった場合にどのように情報を伝えるのか。最寄りの学校、コンビニ、役所に飛び込めば、そこで情報提供を受けられるというようなくみの実現が望ましい。特に学校は光ファイバーネットワークが整備されているので活用できる。

簡潔な言葉でも、その背後にある想いがきちんと読み手に伝わるような表現を心がけて報告書を作成して欲しい。

個々の施策に主語を当てはめる必要がある。国はこれらの施策のうちのどれをやるのか、地方公共団体やNPOなどに何を期待するのかを示すべき。

住民からの情報収集が重要である。報道などは大きな被害のあるところを中心に映せば災害を伝えられるが、行政は散在する小さなニーズをとりまとめねばならない。

国、市町村、都道府県の役割をはっきりと位置づけることが必要。

災害時だけでなく、平常時についても防災情報の共有のステージに含めたことは評価できる。

- ・ 詳細な議事録については後日発言者の確認を経たのち、公表の予定。
- ・ 第 11 回専門調査会は7月10日(木) 10:00より開催する予定。
- ・ 第 12 回専門調査会は7月16日(木) 16:00より開催する予定。

【この件に関する問い合わせ先】

内閣府政策統括官(防災担当)付

地震・火山対策担当

参事官補佐 宮武 裕昭

主査 松田 純一

Tel 03 - 3501 - 5693